

いま、なぜ

# 教育データサイエンス教育が、

そしてどう進めるか

参加無料

質の高い教育のためのデータ駆動型教育の進展に向けて、大学、とりわけ教員養成系大学における教育データサイエンスの教育の重要性が高まっています。

本シンポジウムでは、米国の研究動向や日本の現状を俯瞰しながらその意義を考察するとともに、先進的に取り組む大学の成果や課題を共有しつつ、関係機関との連携を含めた今後のあり方を展望します。

2026年

1.30 **金** 13:00～16:30  
(受付12:30～)

場所

大阪教育大学天王寺キャンパス  
西館1階107ホール  
(大阪府大阪市天王寺区南河堀町4-88)

ハイブリッド開催 (対面およびオンライン)

定員 ・会場170名 ・オンライン300名

参加対象者

教員養成系大学教職員、教育委員会関係者、小中高等学校等教職員、教育関係企業関係者、研究者、学生、その他本テーマに関心のある方

申込方法

本研究所ホームページ「イベント情報」の特設サイト  
および以下の受付URL、二次元バーコードより  
受付URL: <https://forms.office.com/r/nFPDjD8ST0>



申込締切

2026年1月23日(金) 15時まで 会場参加は定員になり次第締切

いま、なぜ

# 教育データサイエンス教育が、 そしてどう進めるか

1.30 

13:00～16:30 (受付12:30～)

## プログラム

13:00 開会挨拶 森田 正信 (国立教育政策研究所長)  
若林 徹 (文部科学省 高等教育局 専門教育課 教員養成企画室長)  
岡本 幾子 (大阪教育大学長)

## 第1部 プロジェクト成果報告

13:25 「米国の教育データサイエンス教育の動向と国立の教員養成系大学・学部調査から見えるもの」  
藤原 文雄 (国立教育政策研究所 教育政策・評価研究部長、教育データサイエンスセンターセンター長特別補佐)

## 第2部 事例報告・ディスカッション

13:45 【事例報告①】  
報告者  
片桐 昌直 (大阪教育大学 副理事・副学長)  
寺澤 孝文 (岡山大学 学術研究院教育学域 教授)  
佐々木 幸寿 (東京学芸大学 理事・副学長)  
松原 主典 (広島大学 大学院人間社会科学研究科 教授)  
ファシリテーター  
高見 享佑 (大阪教育大学 理数情報教育系 数理・知能情報部門 准教授)

15:00 休憩

15:10 【事例報告②】  
報告者  
久保 加織 (滋賀大学 教育学部長・教育学研究科長)  
森山 潤 (兵庫教育大学長)  
ファシリテーター  
平 千枝 (国立教育政策研究所 教育データサイエンスセンター学習データ活用調査官)

## 第3部 パネルディスカッション

15:55 「これからの教育データサイエンス教育を展望する～連携と深化～」  
パネリスト  
森山 潤 (兵庫教育大学長)  
富山 富士子 (大阪市総合教育センター 所長)  
志儀 孝典 (内田洋行教育総合研究所 研究開発部長)  
コーディネーター  
白水 始 (国立教育政策研究所 初等中等研究部長、教育データサイエンスセンター副センター長)

16:25 閉会挨拶 増子 則義 (国立教育政策研究所教育データサイエンスセンター長)